

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



まさに格言の通り 1 月は行き、そして、逃げるといわれる 2 月を迎えました。

更に、今月は 28 日と短い為、あっという間に過ぎてしまい

そうです。

大事なことは、忘れずに済ませなければいけませんね。

ここにきて大雪が降ったりと、厳しい寒さが続いています、暦の上では既に春。

暗い冬が終わり、明るい春が始まる予感に心がはずみます。とはいっても油断は禁物。季節の変わり目は、つい体調を崩しがちです。



又、インフルエンザも流行っているようですので、気をつけてお過ごし下さい。

暖かい春はすぐそこまで来ています。

快適に生活をするために！ (12)

住宅は、他の商品と異なり、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

引き続き、いつまでも快適に暮らすための参考となるポイントについてお伝えしていきます。

今回は、自然災害についての注意事項です。



【大雪】

屋根に多量の雪が積もった時は必ず雪下ろしをして下さい。放置して根雪になれば、きわめて大きな重量になるため、屋根が傷んで雨漏りがしたり、建具の開閉に支障を生じることもありますので、十分注意することが大切です。

【台風】

台風は、夏から秋にかけて南洋で発生し、その後、北上して我が国に上陸し、毎年大きな被害を与えます。台風が接近したら、テレビ・ラジオの台風情報に注意し、雨戸がある場合は雨戸を閉め、建物周辺の飛びやすい物は片付け、樹木、アンテナなどは必要に応じて補強して下さい。

万一、窓ガラスが飛来物などで破られた場合は、畳や家具などで風の入口をふさいで下さい。

放置すると、被害が建物全体に及ぶおそれがあります。

【地震】

大きな地震では家具やピアノが倒れたり、大きく移動して大変危険です。

地震に備え、背の高い家具や重量のある家具は、補強金具などで壁に固定し、倒れないようにして下さい。食器棚などのガラス戸は、倒れた時に壊れたガラスが飛び散らないよう市販の飛散防止フィルムを貼っておきましょう。

小さな揺れでも地震を感じたら、火災予防のためすぐにコンロの火を消し、電気器具のコンセントも必ず抜いて下さい。



次号に続く

「つるしびな」

古くから各地で行われてきたひな祭り。

ひな飾りにも、その土地特有の伝統的なものがあり、「つるしびな」もその一つです。親心あふれるひな祭りという、親王飾りや段飾りなどが一般的ですが、「つるしびな」という、かわいいひな飾りもあります。布で小さいお人形や細工物をたくさん作り、糸でつないでつるして飾るといもので、江戸時代から始まったといわれています。

ひな人形が流行り、富裕層のために豪華なひな人形が作られる一方、一般庶民には高価なひな人形はそうそう買えるものではありませんでした。それでも、生まれてきた子供の幸せを願う気持ちはみな同じで、お母さんやおばあちゃんが古着や端切れなどを使って、小さな人形を作り、つるして飾ったのが始まりだそう



です。つるしびなには、生活用具、食べ物、花や動物など様々ありますが、子どもが衣食住に困らないように、その一つ一つに意味や願いが込められています。

癒して何？

—暖かく癒される場所が欲しいよネ！—

現在では、「癒し」という言葉がすっかり定着してきました。

私たちの普段の生活にも、癒しが求められるようになり、癒し系アイドル、癒し系グッズ、ヒーリングサロン、ヒーリングミュージック、癒しのためのペットなど、癒しに関する言葉やものが世の中にワンサカと溢れています。

癒し—と何気なく使ってはいますが、ちょっと変だと思いませんか？



癒すは動詞で、「病、傷、飢餓、心の悩みを治すこと」ですが、癒しとして名詞になってしまっているのですネ。

癒していったい何なのでしょう？

癒し産業(?)によって、癒しのためのものがドンドン売られています。でも、衣食住を満たすものはあり余るほどあるので、ものが欲しい訳ではないのですよネ。

衣食住を満たすために、毎日慌ただしく働き、ストレスのある生活をしていると、ふと何か足りないとか、自分を見失ってしまっている、と急に不安になることはありませんか？

もしかしたら、あなたが欲しい！と思っているのは癒しのためのものではなく、現実の生活からほんの少し離れて、ホッとできる空間や時間ではないでしょうか。



ところで、皆さんのお子さんやお孫さん達は大丈夫ですか？

「一人ゲーム」の世界に引き籠ってはいませんか？

小学生の男子・女子共、約半数近くが集団生活のストレスに悩んでいるそうです。

学校から帰ったら、即ゲームに没頭するのは、ゲームが面白いだけではなく、仮想の世界で自分の居場所を見つけているのかもしれませんが。子供にとって、ゲームは癒しグッズではありませんが、度が過ぎると社会での共同生活や現実性を失わせてしまうかもしれません。最近の子供の犯罪を見ていると、この様に思えてなりません。

癒しについて、60代の男性がこんなふうに書いています。

「癒しと感ずることは、女房との何気ない素顔の会話、一緒に庭で花を育てたり、食事の時、会話を楽しむ、そして、お風呂でホッと一息すること」



癒しは、仮想の中にあるのではなく、家庭の中に、家族と共に過ごす空間や時間がある、のが理想です。

「自分の家が、一番癒される暖かい場所」でありたいですネ。

当社でも、癒される住まいづくりを目指します。

「編集後記」

つい先日、新年のご挨拶を交わしたと思ったのにもう2月も半ば。早いですね。皆さんお変わりありませんか？
暦の上では既に春とはいえ、名ばかりで、暖かい日差しは、もう少し先になりそうです。
大雪に続き、インフルエンザも大流行中、この後は花粉症・・・心配事はいろいろありますが、寒さも段々と和らぎ、梅やネコヤナギ・桃などが一斉に芽吹き始めます。
やわらかな日差しの中、気持ちまでふんわりやさしくなれる春の足音が近くに感じられるこの頃です。
体調管理をしっかりして、どうぞお元気でお過ごし下さい！
今月もお読みいただき有難うございました。



*「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせ下さい。

編集責任者 渡辺 田鶴子